

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	観光行事開催委託事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	まちづくり観光係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		30 観光		1 観光資源を活用する									
		副目的	30-2													
	予算区分	款	7		項	1		目	3		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	愛知県観光振興基本計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	歴史的価値を持つ小牧山を活用した観光事業を委託実施することにより、市民及び来訪者に対し小牧の魅力をアピールし、観光の振興を図る。														
	内容 (手段)	<p>四季折々の小牧山の良さをPRできるような、歴史と文化の調和のとれた観光事業の開催を委託した。委託先：小牧市観光協会</p> <p>◆平成24年度実施内容</p> <p>・春「さくらまつり」 1200本の桜の名所を楽しんでいただけるような桜まつりを開催した。 内容：会場装飾(夜間ライトアップ用の提灯・ぼんぼり、看板等の設置)、お茶会、写生大会や写真コンクール等を実施した。来場者数 40,600人 事業費 5,781千円</p> <p>・秋「お月見まつり」 中秋の名月の小牧山を舞台にしたお月見まつりを開催した。 内容：信長が好んだといわれる「薪能」(薪能実行委員会主催)や、小牧山をランドマークとしてPR発信することを目的として開催する「小牧山ランドマークフェスタ」(小牧青年会議所)と協働開催し、観月会や月見茶会、月見汁の配布等を実施した。来場者数 22,500人 事業費3,206千円</p> <p>・冬「初日の出を拝む集い」 小牧山山頂において、築城450年記念事業の幕開けとして、「初日の出を拝む集い ～夢・チャレンジのスタート」を開催した。 内容：ステージイベント、小牧市歴史館(小牧城)の特別開館・お汁粉や来場記念品の配布等を実施した。来場者数 4,500人 事業費1,265千円</p> <p>市職員は委託契約事務を行ったほか、観光協会事務局として、事業実施した。</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 観光行事開催委託料 さくらまつり10,000千円 お月見まつり3,500千円 初日の出を拝む集い310千円</p>														
	受益者負担															

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	9,402	7,945	10,252	13,810	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.40	0.30	0.50
			人件費	千円	533	2,132	1,599	2,665
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.28	0.10	0.30
			人件費	千円	0	574	204	416
		費用合計		千円	9,935	10,651	12,055	16,891
	対前年比		%		107.2	113.1	140.1	
財源	一般財源	千円	9,935	10,651	12,055	16,891		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	イベント開催の回数	回	目標		3	3	3	3
			実績		3	2	3	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
	来場者数	人	目標		135,000	135,000	135,000	135,000
			実績		130,000	67,608	67,600	
		目標						
		実績						

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>観光行事の来場者は、天候や気温の寒暖などの外因により左右されるため、H24実績は目標を下回った。</p> <p>事業実施における課題</p> <p>平成24年度は、築城450年記念事業の幕開けとしてふさわしい内容で、初日の出を拝む集いの企画を行った。、また、多くの方が山頂に一時に集中することから、警備計画に十分配慮した。来場者の安全確保について無理のない計画と、警備計画を作成する必要がある。</p> <p>事業を縮小・廃止したときの影響</p> <p>観光の推進は、小牧市の活力創造、まちづくりにつながるものであり、継続的な取り組みが必要である。特に、平成25年に築城450年記念事業への取り組みにより観光まちづくりをスタートさせており、事業を縮小、廃止した場合、せっかく盛り上がった観光まちづくりへの気運が低下してしまう恐れがある。</p>		
	平成25年度の改善内容	<p>25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</p> <p>平成25年度は、さくらまつり、お月見まつりについては、築城450年記念事業として、関連団体等とよく調整し、相乗効果が得られるよう特色を出した事業として開催する。</p>		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	平成25年の築城450年記念事業を契機に、小牧市の観光まちづくりを進めるため、観光行事開催委託事業の維持が必要である。	
		26年度以降の改善案	観光協会の自主的運営に伴い、これまでは、事務局があった商工観光課職員が事業実施を行っていた業務を、観光協会が実施していくためには、事業内容等の根本的な見直しが必要となる。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。平成25年度の小牧山城築城450年記念事業の実績と効果の検証を行ない、今後の効果的な観光行事の実施を検討すること。